

第10回 WEATHER-Eye オープンフォーラム プログラム（案）

- A. 日時：2025 年 12 月 9 日(火) 13:00～17:00
- B. 会場：御茶ノ水ソラシティ 1 階 RoomC（〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6）
- C. 開催方式：会場 150 名・オンライン 500 名のハイブリッド開催（参加費 無料）
- D. テーマ：「特殊気象に挑んだ 10 年間の軌跡と将来 ～日本の航空技術開発～」
- E. スケジュール：

13:00-13:05 開会挨拶（ステアリング議長 神田 淳 氏）

第I部 司会 手塚 亜聖 氏（早稲田大学）

13:05-13:40 基調講演 1

「WEATHER-Eye 10 年の振り返りと今後」

神田 淳 氏（宇宙航空研究開発機構）

濱田 吉郎 氏（宇宙航空研究開発機構）

13:40-14:15 基調講演 2

「乱気流に起因する事故等の防止に向けた取組」

繁永 武士 氏（国土交通省航空局）

14:15-14:50 基調講演 3

CARATS（将来の航空交通システムに関する長期

ビジョン）における航空気象情報の高度化への取組」

戸松 秀之 氏（国土交通省航空局）

14:50-15:10 休憩

第II部 司会 調整中

15:10-15:30 一般講演 1

「雪氷による機材不具合と RWYCC の課題」

松澤 弘樹氏（日本航空株式会社）

15:30-15:50 一般講演 2

「滑走路雪氷検知技術 ～埋設型雪氷モニタリングセンサーGLASS～ の
研究開発（FY2018～2024）と今後の展望（FY2025～）」

守田 克彰氏（宇宙航空研究開発機構）

15:50-16:10 一般講演 3

「航空機搭載用火山灰検知ライダーの研究開発」

井之口 浜木氏（宇宙航空研究開発機構）

16:10-16:30 一般講演 4

「複雑地形を含む低高度空域に対する数値流体シミュレーションをベース
とした風監視システム構築への取り組み」

牧 緑氏（宇宙航空研究開発機構）

16:30-16:50 一般講演 5

「数値気象雷モデルを用いた航空機被雷危険領域の予測」

佐藤 陽祐 氏（大阪大学）

16:50-16:55 閉会挨拶（ステアリング副議長 森岡 日出男 氏）